

横暖ルーフα

工法

重ね葺き

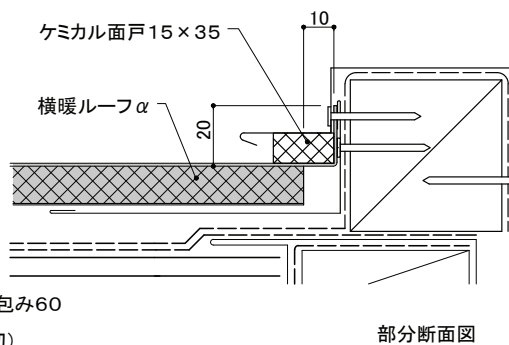
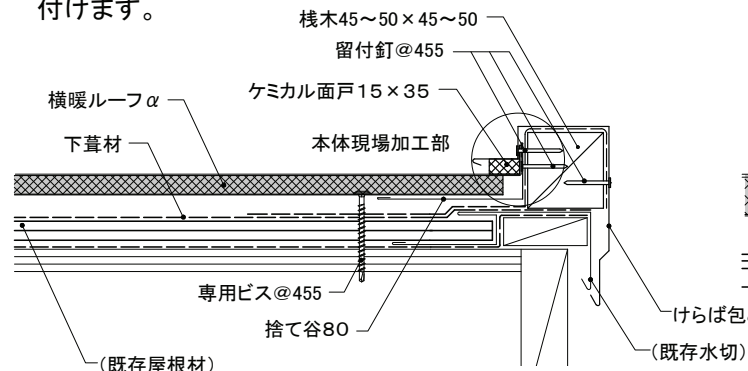
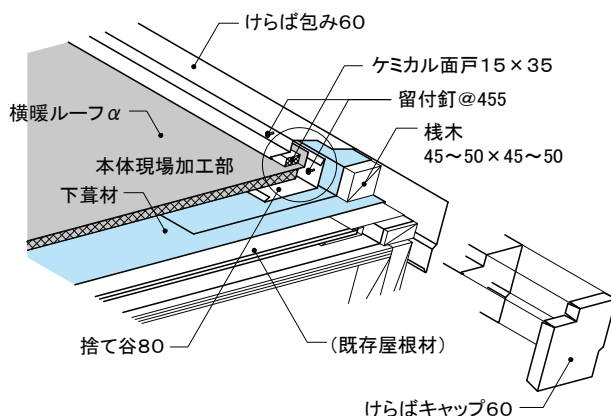
既存屋根材

セメント系新生瓦
アスファルトシングル

5) けらば部

② けらば包み60

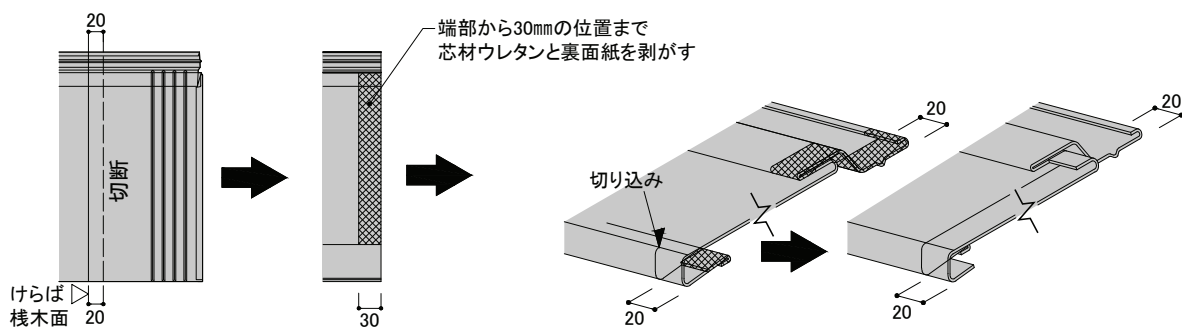
- 下葺材は既存水切にかぶせて既存屋根材の上に張ります。
- けらば部に栈木45～50mm×45～50mmを取り付け、栈木を包むように下葺材を増し張りします。
- 捨て谷80は留付釘(ステンレススクリュー釘長さ32mm以上)を用いて、455mm以下の間隔で栈木に留め付けます。
- 本体の図の位置にケミカル面戸15×35を貼り付け、けらば包み60をかぶせるように施工し、留付釘(ステンレススクリュー釘長さ32mm以上)を用いて、455mm以下の間隔で栈木に留め付けます。
- 軒先端部の仕上げは、けらばキャップをリベットでけらば包みに留め付けるか、留付釘(ステンレススクリュー釘長さ32mm以上)で栈木に留め付けます。



部分断面図

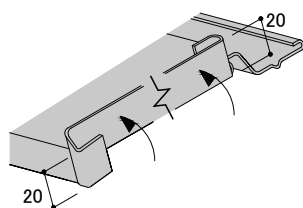
■ 施工ポイント・現場加工図

- 横暖ルーフα 本体のけらば部分は、図のように加工します。

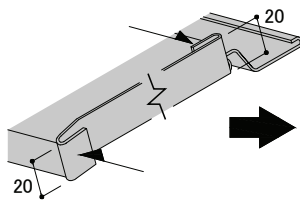


- ① けらば栈木面から図の寸法で切断します。

- ② 網掛け部分を切り落とします。

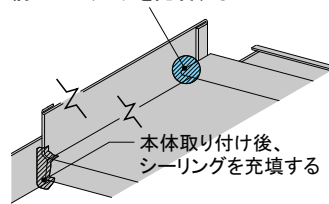


- ③ 切り込みを入れた部分から垂直に起こします。



- ④ Rの部分をつぶします。

次の横暖ルーフα 本体の取り付け前にシーリングを充填する



- ⑤ 接合部から雨水の浸入を防ぐためシーリングを充填します。